

第2期湖西市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略

効果検証シート  
【2023年度事業の評価】

令和6年8月

## 第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2023年度の評価について

### 【総合評価】

各施策の取組については、それぞれの戦略目標及び施策の成果指標の数値が示しているとおりで  
戦略ごとの評価としては、「戦略1」「戦略2」は前年同様C、「戦略3」も前年同様B、「戦略  
4」はCからBへ、「横断的戦略」は前年同様Aと評価をしました。特に戦略2の目標である「0～14  
歳の人口」は厳しく、少子化、晩婚化の背景もあり、年々約200人が減少している状態です。  
この第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、2021年度から計画期間が始まり今回が3回目  
の効果検証となりました。  
新型コロナウイルス感染症も2023年5月には「5類感染症」に位置付けられ、これまでの日常が戻りつ  
つあります。イベントや行事などが再開される一方、オンライン会議が一般的になるなど、デジタル化  
の進展と相まって、働き方や暮らし方にも変化が見られます。  
人々の生活が変化していく中で、ますます解決が求められる社会課題も様々かつ複雑になってきてい  
ます。今年度評価した事業は、これからの見直しに向けた礎として位置づけ、変化していく社会課題と  
湖西市の特性・課題を見据えながら、今後も2040年の理想の姿「KOSAI 2040」に向けた施策展開を  
図っていきます。

### 【各目標・指標の評価について】

第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、4つの将来の理想の姿に対応する4つの戦略があ  
ります。各戦略それぞれに施策を体系化し、施策には主要な事業として基本事業を示しています。  
戦略に「戦略目標」、施策に「施策の成果指標」、基本事業に「KPI」と、3段階の指標を設定して  
います。  
「KPI」は「施策の成果指標」に、「施策の成果指標」は「戦略目標」に寄与し、各指標の達成が上  
位目標達成に貢献します。  
各目標・指標・KPIは、下記基準にて担当部課で評価をし、湖西市未来ビジョン会議にて審議を行っ  
ています。

【戦略目標】…戦略の目標となる成果指標で、実践計画において最も上位の目標となります。

【施策の成果指標】…施策のゴールとなる成果指標です。各施策ごとに設定し、戦略目標に寄与する  
定量的な指標となります。

【KPI】…Key Performance Indicatorの略で、重要業績評価指標と訳されます。この計画では、施策  
の成果指標の達成に向けたプロセスの達成度を把握し、評価する定量的な中間目標として  
設定しています。

### 【戦略の評価について】

| 区分 | 評価内容            |
|----|-----------------|
| A  | 地方創生に非常に効果的であった |
| B  | 地方創生に相当程度効果があった |
| C  | 地方創生に効果があった     |
| D  | より一層の取組が必要      |

### 【戦略目標・施策の成果指標の評価について】

| 区分 | 評価内容・基準  |
|----|--|
| A  | 地方創生に非常に効果的であった<br>・実績値が目標値を上回った、目標値を維持しているなど  |
| B  | 地方創生に相当程度効果があった<br>・実績値が目標値を下回っているが、相当程度（目標値の7～8割）達成した<br>・基準値よりも悪化しているが、社会情勢等を考慮して十分な改善がみられる など |
| C  | 地方創生に効果があった<br>・実績値が目標値を上回らなかったものの、基準値より改善した<br>・基準値よりも悪化しているが、社会情勢等を考慮して改善がみられる など              |
| D  | より一層の取組が必要<br>・実績値が基準値より悪化しているなど   |

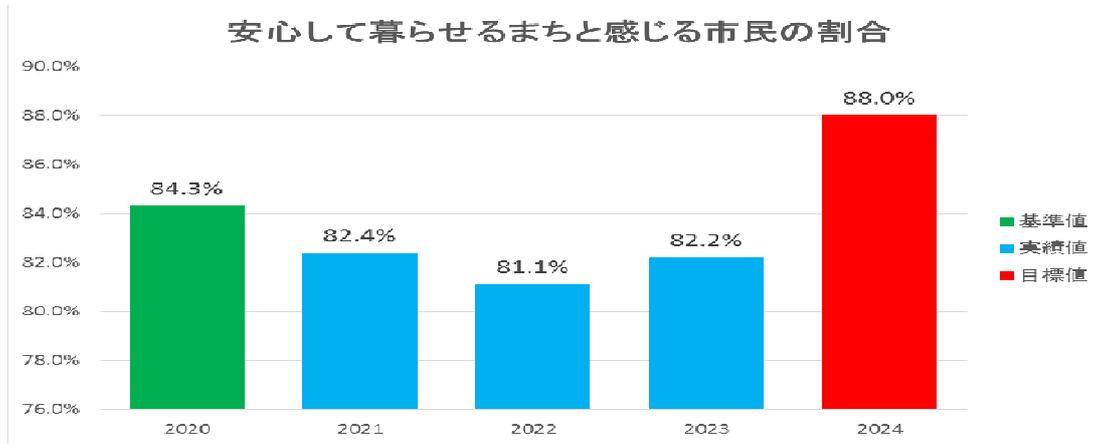
※各評価の下段に表示した矢印は、前年度からの数値の動きを表しています。

1 戦略方針

安全・安心な社会を構築するため、市民の命を守る危機管理体制を一層充実するとともに、いつまでも健やかに暮らせるまちをつくりまします。

2 戦略目標

| 数値目標                                  | 基準値               | 実績値               | 評価         | 当初目標値           | 指標担当課 |
|---------------------------------------|-------------------|-------------------|------------|-----------------|-------|
| 安心して暮らせるまちと<br>感じる市民の割合<br>(市民意識調査結果) | 84.3%<br>(2020年度) | 82.2%<br>(2023年度) | D⇒B<br>(↗) | 88%<br>(2025年度) | 企画政策課 |



3 施策の成果指標

※最下段(2024)は目標値

| 施策① 防災  | 数値           | 評価           | 指標担当課      |
|---|--------------|--------------|------------|
| 災害への備えができていない市民の割合<br>(市民意識調査において「十分できていない」「十分ではないが一部で<br>できていない」と回答した割合) | <b>基準値</b>   | (2020) 72.8% | B⇒B<br>(↘) |
|   | (2021) 70.7% |              |            |
|   | (2022) 67.3% |              |            |
|   | (2023) 67.2% |              |            |
|   | <b>当初目標値</b> | (2024) 80.0% |            |
| 危機管理課   |              |              |            |

| 施策② 交通安全・防犯                      | 数値           | 評価          | 指標担当課      |
|----------------------------------|--------------|-------------|------------|
| 交通事故(人身事故)の年間発生件数<br>(静岡県警発表による) | <b>基準値</b>   | (2019) 251件 | C⇒A<br>(↗) |
|                                  | (2020) 187件  |             |            |
|                                  | (2021) 219件  |             |            |
|                                  | (2022) 247件  |             |            |
|                                  | (2023) 224件  |             |            |
|                                  | <b>当初目標値</b> | (2024) 230件 |            |
| 危機管理課                            |              |             |            |

| 施策③ 消防・救急  |            | 数値   | 評価           | 指標担当課 |   |              |     |
|------------|------------|--|--------------|-------|---|--------------|-----|
| 火災出動件数(年間) | 基準値        | (2019) 21件<br>(2020) 17件<br>(2021) 21件<br>(2022) 20件<br>(2023) 23件 | A ⇒ B<br>(↘) | 消防署   |   |              |     |
|            | 当初目標値      | (2024) 20件   |              |       |   |              |     |
|            | 救急出動件数(年間) | 基準値  |              |       | (2019) 2,193件<br>(2020) 2,004件<br>(2021) 2,168件<br>(2022) 2,469件<br>(2023) 2,644件 | B ⇒ B<br>(↘) | 消防署 |
|            |            | 当初目標値  |              |       | (2024) 2,100件   |              |     |

| 施策④ 地域医療  |       | 数値   | 評価           | 指標担当課 |
|---|-------|--|--------------|-------|
| 地域医療体制に満足している市民の割合<br>(市民意識調査において「満足」「やや満足」と回答した割合) | 基準値   | (2020) 41.6%<br>(2021) 46.3%<br>(2022) 44.4%<br>(2023) 47.6% | B ⇒ A<br>(↗) | 健康増進課 |
|   | 当初目標値 | (2024) 45.0%   |              |       |

| 施策⑤ 健康               |       | 数値   | 評価           | 指標担当課  |
|----------------------|-------|--|--------------|--------|
| 介護認定率(認定者総数/65歳以上人口) | 基準値   | (2019) 12.3%<br>(2020) 12.5%<br>(2021) 12.9%<br>(2022) 13.2%<br>(2023) 13.7% | D ⇒ D<br>(↘) | 高齢者福祉課 |
|                      | 当初目標値 | (2024) 12.6%以下   |              |        |

| 施策⑥ 福祉  |   | 数値   | 評価           | 指標担当課  |  |              |       |
|---|---|--|--------------|--------|--|--------------|-------|
| 高齢者にとって住みやすいまちと思う市民の割合<br>(市民意識調査において「思う」「まあまあ思う」と回答した割合) | 基準値   | (2020) 53.2%<br>(2021) 49.5%<br>(2022) 45.7%<br>(2023) 44.2% | B ⇒ C<br>(↘) | 高齢者福祉課 |  |              |       |
|   | 当初目標値   | (2024) 55.0%   |              |        |  |              |       |
|   | 障害者にとって住みやすいまちと思う市民の割合<br>(市民意識調査において「思う」「まあまあ思う」と回答した割合) | 基準値  |              |        | (2020) 35.1%<br>(2021) 30.5%<br>(2022) 23.0%<br>(2023) 26.2% | D ⇒ D<br>(↗) | 地域福祉課 |
|   |   | 当初目標値  |              |        | (2024) 37.0%   |              |       |

| 施策⑦ 廃棄物・上下水道                      |       | 数値   | 評価           | 指標担当課  |
|-----------------------------------|-------|--|--------------|--------|
| 1人1日当たりのごみの排出量<br>(一般廃棄物処理実態調査より) | 基準値   | (2019) 955g<br>(2020) 948g<br>(2021) 944g<br>(2022) 937g<br>(2023) 977g                      | B ⇒ C<br>(↘) | 廃棄物対策課 |
|                                   | 当初目標値 | (2024) 927g以下  |              |        |
| 水道事業の経常収支比率                       | 基準値   | (2018) 116%<br>(2019) 120%<br>(2020) 120%<br>(2021) 117%<br>(2022) 115%<br>(2023) 112%       | A ⇒ A<br>(↘) | 水道課    |
|                                   | 当初目標値 | (2024) 110%以上  |              |        |
| 下水道の水洗化率(接続済人口/処理区域内人口)           | 基準値   | (2018) 81.9%<br>(2019) 82.3%<br>(2020) 83.1%<br>(2021) 83.3%<br>(2022) 83.3%<br>(2023) 83.7% | B ⇒ B<br>(↗) | 下水道課   |
|                                   | 当初目標値 | (2024) 86.2%   |              |        |

| 施策⑧ 道路                         |       | 数値   | 評価           | 指標担当課 |
|--------------------------------|-------|--|--------------|-------|
| 都市計画道路の整備率<br>(「静岡県の都市計画」調査より) | 基準値   | (2019) 70.0%<br>(2020) 70.0%<br>(2021) 70.0%<br>(2022) 70.0%<br>(2023) 71.0% | B ⇒ B<br>(↗) | 土木課   |
|                                | 当初目標値 | (2024) 80.0%   |              |       |

| 施策⑨ 公共交通  |       | 数値  | 評価           | 指標担当課 |
|---|-------|---|--------------|-------|
| 高齢者の自動車依存率(70歳代以上)<br>(市民意識調査において主な交通手段を「自動車」と回答した割合) | 基準値   | (2019) 61.9%<br>(2020) 59.6%<br>(2021) 平日79.5%<br>休日82.7%<br>(2022) 平日83.4%<br>休日85.4%<br>(2023) 平日82.6%<br>休日87.9% | C ⇒ C<br>(→) | 都市計画課 |
|   | 当初目標値 | (2024) 58.0%  |              |       |

#### 4 主な事業とKPI

| 施策   | ⑨ 公共交通  |  |
|------|---|--|
| 事業名  | 19 デマンド型交通の充実   | 担当課 都市計画課  |
| 事業概要 | <p>デマンド型乗合タクシーを既に導入している地域においては、利用啓発を継続し、新規利用者及び利用者の増加を図ります。</p> <p>コーちゃんバスの経路圧縮等で公共交通サービスの低下が想定される地域を優先し、市内全域への拡大を目指します。</p>                  |  <p>デマンド型乗合タクシー<br/>(通称:コーちゃんタクシー)</p> |
| KPI  | <p>デマンド型乗合タクシー利用者数</p> <p>基準:2,497人(2019) 当初目標:5,000人(2024)</p> <p>実績:5,862人(2023) 評価: ↗</p>  |  |
| R5実績 | <p>・地域のいきいきサロンや寿大学といった高齢者向け講座での利用啓発や地区の会合でのPRにより、延べ利用者数は、2022年度の5,181人から大幅に増加した。</p>  |  |
| 事業名  | 20 BaaSの推進  | 担当課 都市計画課  |
| 事業概要 | <p>企業シャトルバスという地域資源を有効活用し、公共交通空白時間に運行する企業バスに市民が乗車する実証実験を行います。</p> <p>B a a S 事業の社会実装に向けた問題点の検証及び地域課題への効果検証のための調査分析を行います。(2020年度から事業検討スタート)</p> |  <p>企業シャトルバス BaaS</p>                  |
| KPI  | <p>BaaS乗車人数</p> <p>基準:制度創設前(2019) 当初目標:1,000人(2024)</p> <p>実績:269人/5月(2023) 評価: →</p>   |  |
| R5実績 | <p>・約5ヶ月間の実証実験を行った。</p> <p>・オンライン決済の導入や、一部バス停利用については予約不要とするなど、市の公式LINEを窓口とした移動+αの付加価値の提供にも取り組んだ。</p>  |  |

5 総合評価・数値目標の達成状況に対する分析と考察

|         |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| 前年度比    | A | B | C | D |
| 評価      | — | — | ● | — |
| 戦略目標    | — | 1 | — | — |
| 施策の成果指標 | 3 | 5 | 3 | 2 |

|          |    |    |    |
|----------|----|----|----|
| 前年度比     | 上昇 | 維持 | 低下 |
| 基本事業のKPI | 11 | 3  | 6  |

市民の安全・安心に直結する『①防災』や『②交通安全・防犯』の取組は、災害への備えに関する意識は前年度と変わらず低調ですが、9月には県総合防災訓練の会場となったことから基本事業の「防災訓練等に参加した人への割合」は増えており気運の醸成が期待できます。また、警察や交通安全協会の協力のもと、**防犯活動や交通安全教室などの啓発活動を継続してきた効果**も見られます。

『火災出動件数（年間）』は、増減を繰り返しながら推移していますが、**建物火災が過去10年で最も多い件数**となっています。また、『救急出動件数（年間）』は、コロナ禍が明け、**人の出入りが活発**となり増加につながっていると考えられます。一方でコロナ禍以降、**軽症レベルの発熱での救急要請**が増えていることや、高齢化に伴い、例えば**搬送できる者がいない**という理由で要請がかかるなど、年々**高齢者に対する出動件数**が増えている（10年間で約550件増）ことも背景にあります。

『④地域医療』は、コロナウイルスに起因する**発熱専門外来を市立湖西病院に整備し、平時だけでなく年末年始、感染拡大時でもしっかりと対応している**ことなどが、満足度の上昇につながっていると考えられます。

⑤健康、⑥福祉のうち、高齢者関連については、「**お達者度**」※で、**女性は県内2位、男性は県内4位**であるなど、**元気な高齢者が多いものの、高齢者の増加に伴い介護認定率は年々上昇**し、住みやすいと思う市民の割合も低下傾向にあります。コロナ禍により落ち込んだ老人クラブ等の活動水準が回復しない中、「いきいきサロン」など**社会参画の機会提供**や、**認知症等の高齢者の見守り**を進める「オレンジネットワーク」の登録促進等により引き続き取り組むとともに、**水道スマートメーターを活用したフレイル予防の検討**など、部局横断の取組を進めていきます。

障害者向け施策においては、**公共施設の重度心身障害者（児）対応設備が整備されていない**こと含め、障害児のサービスについて、市内事業所ではニーズに十分応えられていません。

この他、**相談支援事業所の人材不足**による細やかな支援ができない現状や、**障害者及びその家族の高齢化、障害の重度化**により、相談支援の横断化が進んでいないため、KPIの数値は低調です。

『⑦廃棄物・上下水道』について、「1人1日当たりのごみの排出量」は、**家庭系のごみ排出量は減少**しているものの、**事業系のごみ搬出量が増加**したため、全体として排出量は増加しています。**事業系ごみガイドブックを配付**するなどし、事業者のごみ減量を促進していきます。

また、「水道事業の経常収支比率」は、**人口減少に伴う水道料金収入の減少や物価・電力費等の高騰**に伴う費用増加の影響が表れています。今後も**施設統廃合・配水区域再編や業務改善**を進め、経費削減に向けて取り組んでいきます。「下水道の水洗化率（接続済人口/処理区域内人口）」については、未接続者を対象とした**戸別訪問やPR活動**を継続して行うことで目標達成に向けて取組を進めています。令和5年度に改定した「**湖西市下水道事業経営戦略中間見直し**」に基づき、接続促進の新たな取組などを実施し、水洗化率向上を目指していく必要があります。

『⑧道路』「都市計画道路の整備率」は、**現在整備中の事業が完了することで向上が見込まれます**。なお、大倉戸茶屋松線（道路局区間）は令和5年9月に供用開始し、都市局区間についても整備完了に向け事業執行中です。鷺津駅谷上線も整備完了に向け事業執行中ですが、商業地隣接区間の工事工程計画を見直したことにより、2024年度目標値の修正が今後必要と考えています。

『⑨公共交通』における「高齢者の自動車依存率（70歳代以上）」について、**平日の依存率は減少**したものの、**休日の依存率は増加**しています。この施策に寄与する「**デマンド型交通の充実**」と「**BaaSの推進**」において、デマンド型乗合タクシーは、高齢者向けへの啓発活動により、前年度よりも約700人と大幅に増加しました。また、BaaSについても、**実証実験のなかでオンライン決済の導入や、一部バス停利用については予約不要**とするなど、**市の公式LINEと連動しながら利便性を高める**などの施策を展開しました。この2つの事業については、休日実施していないことから、施策の充実度が増したことが、今回のKPI数値に表れたと考えられます。

戦略1の総評として、**コロナ禍は明けたものの、落ち込んでしまった地域活動が戻っていない**こともあり、事業内容によっては昨年度同様、低調が続く傾向が見受けられました。一方で、公共交通事業に見られるように**デジタル技術を活用した事業推進**により、良い傾向が見られた事業もあることから、戦略1の評価は前年度同様Cとしました。

**戦略2**  
結婚、出産、子育て、教育

**結婚、出産、子育ての希望がかなえられ、  
誰もが活躍できるまちをつくる**

評価  
C⇒C

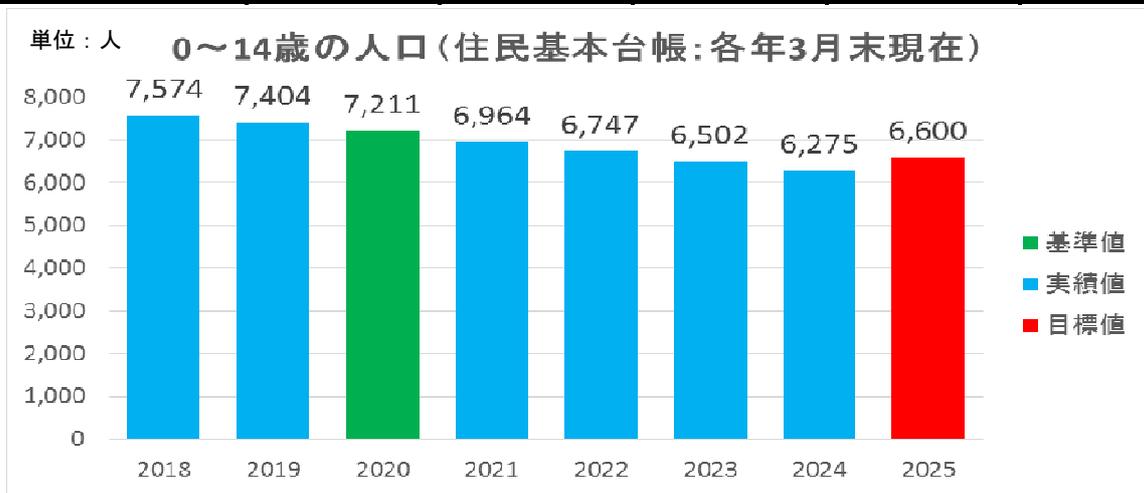
※各評価の下端に表示した矢印は、前年度からの数値の動きを表しています。

1 戦略方針

未来の湖西市のために、安心して出産・子育てができる環境を整備するとともに、子どもたちが安心して学習できる環境の充実に努め、誰もが活躍できるまちをつくります。

2 戦略目標

| 数値目標                 | 基準値                 | 実績値                 | 評価         | 当初目標値               | 指標担当課 |
|----------------------|---------------------|---------------------|------------|---------------------|-------|
| 0～14歳の人口<br>(住民基本台帳) | 7,211人<br>(2020年3月) | 6,275人<br>(2024年3月) | D⇒D<br>(↘) | 6,600人<br>(2025年3月) | 企画政策課 |



3 施策の成果指標

※最下段(2024)は目標値

| 施策⑩ 結婚・出産・子育て  | 数値     | 評価         | 指標担当課  |       |
|--|--------|------------|--------|-------|
| 子育て世代にとって住みやすいまち満足度<br>(市民意識調査において「思う」「まあまあ思う」と回答した割合) | 基準値    | B⇒C<br>(↘) | 子ども政策課 |       |
|  | (2019) |            |        | 65.8% |
|  | (2020) |            |        | 65.8% |
|  | (2021) |            |        | 56.6% |
|  | (2022) |            |        | 53.9% |
|  | (2023) |            |        | 49.3% |
| 当初目標値  | (2024) | 70.0%      |        |       |

| 施策⑪ 学校教育                                |       | 数値           | 評価           | 指標担当課 |
|---|-------|--------------|--------------|-------|
| 学校が「楽しい」児童・生徒の割合（小学校）<br>（湖西市教育委員会調査より） | 基準値   | (2019) 93.8% | B ⇒ B<br>(↗) | 学校教育課 |
|   |       | (2020) 94.1% |              |       |
|   |       | (2021) 94.0% |              |       |
|   |       | (2022) 91.5% |              |       |
|   |       | (2023) 93.0% |              |       |
|   | 当初目標値 | (2024) 94.0% |              |       |
| 学校が「楽しい」児童・生徒の割合（中学校）<br>（湖西市教育委員会調査より） | 基準値   | (2019) 90.5% | B ⇒ B<br>(↗) | 学校教育課 |
|   |       | (2020) 90.6% |              |       |
|   |       | (2021) 87.7% |              |       |
|   |       | (2022) 89.0% |              |       |
|   |       | (2023) 92.5% |              |       |
|   | 当初目標値 | (2024) 93.0% |              |       |

| 施策⑫ 生涯学習・スポーツ振興  |       | 数値           | 評価           | 指標担当課      |
|--|-------|--------------|--------------|------------|
| 生涯を通じて幅広い学習・スポーツ活動ができる環境の充実の満足度<br>（市民意識調査において「満足」「やや満足」と回答した割合） | 基準値   | (2020) 19.4% | A ⇒ B<br>(↘) | スポーツ・生涯学習課 |
|  |       | (2021) 61.0% |              |            |
|  |       | (2022) 61.8% |              |            |
|  |       | (2023) 50.9% |              |            |
|  |       | (2024) 61.0% |              |            |
|  | 当初目標値 |              |              |            |

| 施策⑬ 共生社会   |       | 数値           | 評価           | 指標担当課 |
|--|-------|--------------|--------------|-------|
| 外国人市民に親しみを感じる日本人の割合<br>（市民意識調査において「親しみを感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した割合） | 基準値   | (2020) 21.6% | C ⇒ C<br>(↗) | 市民課   |
|  |       | (2021) 24.5% |              |       |
|  |       | (2022) 25.2% |              |       |
|  |       | (2023) 27.1% |              |       |
|  |       | (2024) 50.0% |              |       |
|  | 当初目標値 |              |              |       |
| 男女の役割を固定的に考えることに同感しない市民の割合<br>（市民意識調査において「同感しない」と回答した割合）         | 基準値   | (2020) 46.7% | A ⇒ A<br>(↗) | 市民課   |
|  |       | (2021) 59.0% |              |       |
|  |       | (2022) 60.0% |              |       |
|  |       | (2023) 62.7% |              |       |
|  |       | (2024) 50.0% |              |       |
|  | 当初目標値 |              |              |       |

#### 4 主な事業とKPI

| 施策   | ⑩ 結婚・出産・子育て   |               |
|--|---|---------------|
| 事業名  | 22 保育の拡充  |               |
| 事業概要   | 既存教育・保育施設の民営化を進めるとともに、保育の受け皿拡大に向け、保育環境の整備を推進します。  |               |
| KPI  | 保育園、認定こども園の待機児童   |               |
|  | 基準：5人(2019)   | 当初目標：0人(2024) |
|  | 実績：0人(2023)   | 評価： →         |
| R5実績   | 保育の利用定員数（令和5年度→令和6年度 ▲3）<br>・なぎさ保育園のR6年度末閉園調整（22→20=▲2）<br>・真愛保育園のこども園化による定員調整（100→99=▲1） |               |
|  |   |               |

## 5 総合評価・数値目標の達成状況に対する分析と考察

|         |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| 前年度比    | A | B | C | D |
| 評価      | — | — | ● | — |
| 戦略目標    | — | — | — | 1 |
| 施策の成果指標 | 1 | 3 | 2 | — |

|          |    |    |    |
|----------|----|----|----|
| 前年度比     | 上昇 | 維持 | 低下 |
| 基本事業のKPI | 4  | 2  | 4  |

『⑩結婚・出産・子育て』における施策の成果指標である「子育て世代にとって住みやすいまち満足度」は基準値を下回り、3年連続下降が続いているため、早急に対応を図る必要があると認識しています。基本事業の「母子保健相談の充実」の指標である、育てにくさに対処ができるとする割合についても下降傾向です。で、子育てに対する悩みの多様化を踏まえた対応が必要であると考えます。一方で、保育園、認定こども園の待機児童数はゼロを維持し、放課後児童クラブの定員数も大きく目標値を超えました。

2023年度中に未就学児及び小学生のほぼ全家庭を対象に実施したアンケートにより、市に求める子育て支援策のニーズを確認しました。この結果をもとに、令和7年度中に策定する湖西市こども計画の中で、新たなこども施策を打ち出し、具体的な目標を設定して改善に努めます。

『⑪学校教育』では、外国人児童生徒の増加に伴う指導員や通訳員の配置、特別支援を要する児童生徒の増加傾向に対して支援員を配置するなど基本事業の「一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援」は、昨年度並みの水準を達成できています。「小・中学校トイレの洋式化率」についても、順調に整備が進んでおり、令和6年度には目標を達成する見込みとなっています。

コロナの5類移行に伴い、学校生活・学校行事の制約がなくなり、個ではなく共に活動する機会が増えたことで、施策の成果指標である「学校が「楽しい」児童・生徒の割合」が上昇したと思われます。

『⑫生涯学習・スポーツ振興』における施策の成果指標である「生涯を通じて幅広い学習・スポーツ活動ができる環境の充実の満足度」は、昨年度よりも数値は下がったものの、前年度と変わらず基準値よりも高い水準を維持しております。これは、指定管理者制度を用いた社会体育施設の安全安心な施設管理の運営や、SNS等を活用したスポーツ関連イベント周知などが満足度に還元されたと評価しています。

基本事業である「体育施設の利用者数」は、コロナ禍からの回復傾向ではあるものの、施設の修繕なども加わり、昨年度より数値は下がり、従前まで回復できていません。このほか、図書館の「市民1人当たりの貸出冊数」も昨年度より数値が下がり、情報収集方法の多様化などで利用者が減少しています。いまの時代に合ったSNSを活用した周知方法の検討等多くの方に参加してもらえる環境を整えていく必要があります。

『⑬共生社会』にあっては、成果指標の「男女の役割を固定的に考えることに同感しない市民の割合」は上昇傾向にあり、昨年度同様目標値を達成できています。

一方で、「外国人市民に親しみを感じる日本人市民の割合」は、目標値よりも低いですが、外国籍人口の増加や新たな国際交流イベントの開催により両者の接点が増えたことから数値は上昇しており着実に進んでいます。第3次湖西市多文化共生推進プランの推進及び先進的事例の研究などをすすめ、目標値達成に向けて改善を考える必要があります。

戦略2の目標である「0～14歳の人口」は、毎年約200名が減少しています。これは、出生数が平成24年495人に対して、令和5年には280人と、生まれる子どもの数が約200人減っているという事実が表れています。現状のままでは目標値を到達することが難しい状況にあります。特に「子育て世代にとって住みやすいまち満足度」の数値が下がり続けているため、早急な改善が必要です。しかしながら、これ以外の「学校教育」「生涯学習・スポーツ振興」「共生社会」は概ね良い傾向がみられるため、総評はC判定としました。

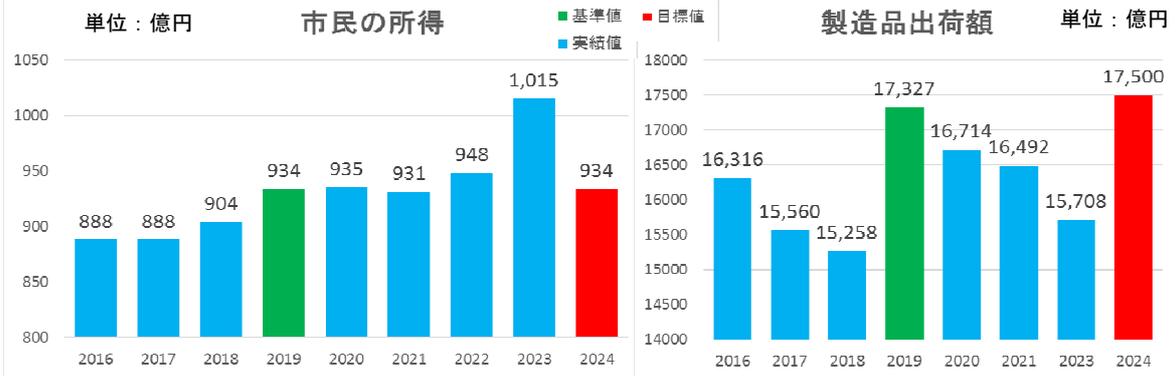
※各評価の下段に表示した矢印は、前年度からの数値の動きを表しています。

1 戦略方針

持続的な経済の発展を実現するため、市外への所得と消費の流出抑制を図り、市内でより多くのお金を循環させる稼ぐまちをつくりまします。

2 戦略目標

| 数値目標                   | 基準値                   | 実績値                   | 評価           | 当初目標値                 | 指標担当課          |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|----------------|
| 市民の所得<br>(個人住民税の総所得金額) | 934億円<br>(2019年度)     | 1,015億円<br>(2023年度)   | A ⇒ A<br>(↗) | 934億円<br>(2024年度)     | 税務課            |
| 製造品出荷額<br>(工業統計)       | 1兆7,328億円<br>(2019年度) | 1兆5,708億円<br>(2022年度) | D ⇒ D<br>(↘) | 1兆7,500億円<br>(2024年度) | 企画政策課<br>産業振興課 |



3 施策の成果指標

※最下段(2024)は目標値

| 施策⑭ モノづくり産業の活性  | 数値     | 評価           | 指標担当課 |       |
|---|--------|--------------|-------|-------|
| 中学3年生が将来湖西市で働きたいと思う割合<br>(市内中学校へのアンケート調査で「はい」と回答した割合) | 基準値    | D ⇒ D<br>(↗) | 産業振興課 |       |
|   | (2017) |              |       | 33.0% |
|   | (2020) |              |       | 33.0% |
|   | (2021) |              |       | 33.0% |
|   | (2022) |              |       | 10.0% |
|   | (2023) |              |       | 16.0% |
| 当初目標値   | (2024) | 50.0%        |       |       |

※2017年、2020年、2021年は同じ数値を使用。

| 施策⑮ 就業支援 |       | 数値   | 評価           | 指標担当課 |
|----------|-------|--|--------------|-------|
| 納税義務者数   | 基準値   | (2019) 32,902人<br>(2020) 33,092人<br>(2021) 32,968人<br>(2022) 33,048人<br>(2023) 33,307人 | A ⇒ A<br>(↗) | 産業振興課 |
|          | 当初目標値 | (2024) 32,900人   |              |       |

| 施策⑯ 工業・商業                                 |       | 数値  | 評価           | 指標担当課 |
|---|-------|---|--------------|-------|
| 第二次、第三次産業の事業所数<br>(経済センサスより(医療・福祉、公務を除く)) | 基準値   | (2016) 2,117事業所<br>(2020) 2,117事業所<br>(2021) 1,955事業所<br>(2022) 1,955事業所<br>(2023) 1,989事業所 | B ⇒ B<br>(↗) | 産業振興課 |
|   | 当初目標値 | (2024) 2,117事業所   |              |       |

※経済センサスは5年に1度のため、2021年と2022年は同じ数値を使用。

| 施策⑰ 農業・漁業                      |       | 数値   | 評価           | 指標担当課 |
|--------------------------------|-------|--|--------------|-------|
| 一次産業従事者数<br>(認定農業者数＋浜名漁協正組合員数) | 基準値   | (2020) 302人<br>(2021) 287人<br>(2022) 273人<br>(2023) 268人 | D ⇒ D<br>(↘) | 産業振興課 |
|                                | 当初目標値 | (2024) 317人  |              |       |

#### 4 主な事業とKPI

| 施策   | ⑭ モノづくり産業の活性  |                   |            |
|------|---|-------------------|------------|
| 事業名  | 31 モノづくり産業ネットワークの構築   | 担当課               | 産業振興課      |
| 事業概要 | 市内のモノづくり企業、学校、関係団体、金融機関、行政等がネットワークを構築し、モノづくり人材育成や、企業が抱える課題解決に向けた取組を一体的に進めます。  |                   |            |
| KPI  | モノづくり産業ネットワークに参加する事業所数  |                   |            |
|      | 基準:創設前(2019)  | 当初目標:100事業所(2024) |            |
|      | 実績:78事業所(2023)  | 評価: ↗             |            |
| R5実績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の中小企業や県西部地域の各種支援機関を訪問し、ネットワーク構築の基礎とすべく関係強化に努めた。</li> <li>商工会と連携し、市内の中小企業と小中学校及び高校を結びつけるためのイベントを実施した。</li> </ul>                  |                   |            |
| 事業名  | 32 モノづくり人材育成  | 担当課               | スポーツ・生涯学習課 |
| 事業概要 | モノづくりのまち湖西の将来の産業基盤を支える人材を育成するため、郷土の偉人豊田佐吉翁の「報恩創造」の精神を継承し、こどもたちのための「モノづくり」体験を実施します。  |                   |            |
| KPI  | 発明クラブ参加者数(延べ人数)   |                   |            |
|      | 基準:1,053人(2019)   | 当初目標:1,620人(2024) |            |
|      | 実績:1,598人(2023)   | 評価: ↗             |            |
| R5実績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスに起因する会場の利用制限もなくなり、人数抽選することなく募集ができたことで会員増につながった。</li> <li>モノづくり企業から指導員としての協力をいただく等、連携強化により中学生コースのクラブ員がWRO全国大会に出場。</li> </ul> |                   |            |



合同企業説明会



発明クラブの様子

| 施策   | ⑯ 工業・商業  |                |       |
|------|--|----------------|-------|
| 事業名  | 37 企業立地の促進   | 担当課            | 産業振興課 |
| 事業概要 | 湖西市企業立地促進奨励金制度を活用し、事業所の立地を促進します。                                     |                |       |
| KPI  | 制度を利用した立地件数(累計)  |                |       |
|      | 基準:18件(2019)   | 当初目標:20件(2024) |       |
|      | 実績:20件(2023)   | 評価: ↗          |       |
| R5実績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得奨励金および雇用奨励金 1社</li> </ul> |                |       |



浜名湖西岸土地区画整理事業  
(KOSAI Battery Park)

## 5 総合評価・数値目標の達成状況に対する分析と考察

|          |    |    |    |   |
|----------|----|----|----|---|
| 前年度比     | A  | B  | C  | D |
| 評価       | —  | ●  | —  | — |
| 戦略目標     | 1  | —  | —  | 1 |
| 施策の成果指標  | 1  | 2  | —  | 1 |
| 前年度比     | 上昇 | 維持 | 低下 |   |
| 基本事業のKPI | 10 | —  | 4  |   |

戦略3の重点施策に位置する『⑭モノづくり産業の活性化』の指標である「中学3年生が将来湖西市で働きたいと思う割合」は、16%と前年度より6ポイント上昇したものの、目標値を大きく下回っています。一方で、「いいえ」と答えていた割合は基準年度（2017）には66%でしたが、今年度は50%と16ポイント減少しており、湖西市で働くことに対しネガティブな意見が減っていると捉えられます。「わからない」と回答した割合は34%おり、今後の取組次第では増加に転じる可能性も十分にあります。

「モノづくり産業ネットワークの構築」については、関係機関との連携強化や市内の中小企業と小中学校及び高校を結びつけるためのイベントなど、精力的な活動を示す指標としてInstagramを開設し達成度を測りはじめました。このほか、「モノづくり人材育成」を測る指標である「発明クラブ参加者数」は、コロナ禍が明け、人数制限の必要がなくなったことから会員増につながりました。また、市内企業から指導員の協力をいただくなどの連携強化により、中学生コースのクラブ員が自律型ロボットコンテストであるWorld Robot Olympiad全国大会に出場するなどの成績もおさめています。

これらの活動が将来湖西市で働きたいと思う子どもたちを増やすきっかけとなると捉えています。

『⑮就業支援』については、ターゲット層ごとにセミナーや個別相談等の支援を実施し、若者、高齢者への就業支援は基準値と同水準まで増加しました。女性への就業支援では在宅ワークに関するセミナーを実施するなど、新しい生活に沿った就労支援を実施したことで、参加者数の増加に繋がりました。令和6年度は、在宅ワークのスキルアップセミナー等の充実を計画しています。施策の成果指標である「納税義務者数」は、2021年度の高年齢者雇用安定法改正に伴う定年引上げや希望者の雇用延長の影響により増加傾向に推移していると考えられます。

『⑯工業・商業』についても『⑭モノづくり産業の活性化』と同様に重点施策とされており、重点基本事業である「企業立地の促進」は、湖西市企業立地促進奨励金制度を活用した企業誘致が前年度同様1件成立する成果が見られ、浜名湖西岸土地区画整理事業についても広大な用地を取得した企業に引渡しが完了し、目標値を超える結果となりました。また、空き家の利活用マッチング数も、前年度同様商工会と連携し周知をしており、空き店舗等利活用出店補助金を活用した出店が増加しています。

農業者については、従来耕作地がある市町各々で認定農業者として認定を受けていたものが、法改正により、隣接市町から入作により耕作している他市町の農業者が、国、県の認定により当市の認定農業者となったことや、各補助制度の対象が認定農業者となっているため、補助金活用希望者への案内などにより、一定の成果がみられます。

一方で、漁業者については、アサリの記録的な不漁が続いていますが、漁協、県、浜松市と連携した浜名湖の水産資源の回復や、補助制度の創設などにより、減少人数が緩和に繋がりましたが、「一次産業従事者数」全体では前年度に比べ微減となりました。

戦略3の総評として、個別の取組である基本事業は目標値には届かない事業が多いものの、着実な施策の遂行により、前年度と比べ上昇している事業も多く、戦略目標である「市民の所得金額」が目標値も前年度同様大幅に上回ったことを加味してB判定としました。

戦略4  
交流

新たなつながりを築き、新しいひとの流れのあるまちをつくる

評価  
C⇒B

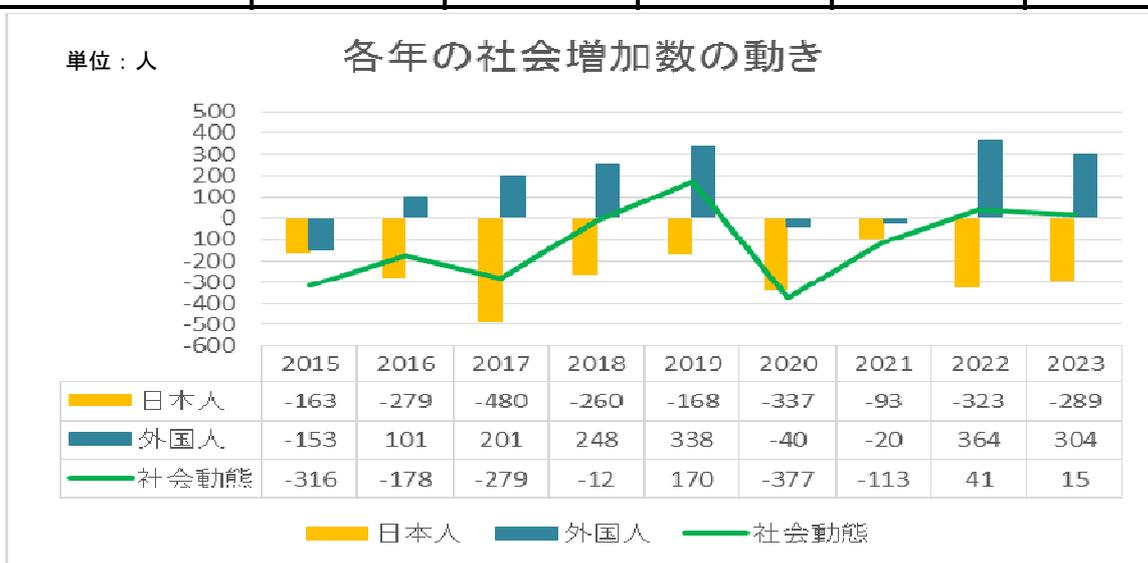
※各評価の下段に表示した矢印は、前年度からの数値の動きを表しています。

1 戦略方針

湖西市への移住定住を促進するため、産業、自然、レジャー、歴史文化の全てを備える湖西ならではのライフスタイルや魅力を発信し、多くのひととつながりを築きます。

2 戦略目標

| 数値目標   | 基準値                    | 実績値  | 評価         | 当初目標値               | 指標担当課 |
|--|------------------------|--|------------|---------------------|-------|
| 人口社会増減数(住民基本台帳)2021年4月から2026年3月までの5年間で人口社会増減±0 | -615人<br>(2015~2019年度) | 15人<br>(2023年度)<br>参考:-264人<br>(2018~2023年度) | B⇒B<br>(↘) | 0人<br>(2021~2025年度) | 企画政策課 |



3 施策の成果指標

※最下段(2024)は目標値

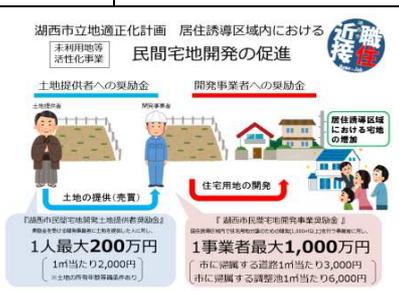
| 施策⑩ 住環境                       | 数値   | 評価         | 指標担当課 |
|-------------------------------|--|------------|-------|
| 市街化区域内の人口<br>(「静岡県の都市計画」調査より) | 基準値  | D⇒D<br>(↘) | 都市計画課 |
|                               | 当初目標値  |            |       |
|                               | (2019) 38,165人<br>(2020) 37,850人<br>(2021) 37,600人<br>(2022) 37,548人<br>(2023) 37,380人<br>(2024) 37,900人 |            |       |

| 施策⑱ 自然環境   |       | 数値           | 評価           | 指標担当課 |
|--|-------|--------------|--------------|-------|
| 自然環境が豊かであると感じる市民の割合<br>(市民意識調査において「思う」「まあまあ思う」と回答した割合) | 基準値   | (2020) 91.4% | B ⇒ B<br>(↗) | 環境課   |
|  |       | (2021) 77.2% |              |       |
|  |       | (2022) 88.6% |              |       |
|  |       | (2023) 90.3% |              |       |
|  | 当初目標値 | (2024) 93.0% |              |       |

| 施策⑳ 観光振興                                |              | 数値           | 評価           | 指標担当課 |
|---|--------------|--------------|--------------|-------|
| 来訪者満足度<br>(公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー調査より) | 基準値          | (2019) 86.3% | B ⇒ B<br>(↘) | 文化観光課 |
|   |              | (2020) 89.4% |              |       |
|   |              | (2021) 86.6% |              |       |
|   |              | (2022) 86.1% |              |       |
|   | 当初目標値        | (2023) 85.4% |              |       |
|   | (2024) 90.0% |              |              |       |

| 施策㉑ 移住定住促進                    |             | 数値          | 評価           | 指標担当課 |
|-------------------------------|-------------|-------------|--------------|-------|
| 支援制度(住もっか・新婚さん・わ〜くわく)による転入者累計 | 基準値         | (2019) 137人 | B ⇒ B<br>(↗) | 企画政策課 |
|                               |             | (2020) 249人 |              |       |
|                               |             | (2021) 384人 |              |       |
|                               |             | (2022) 544人 |              |       |
|                               | 当初目標値       | (2023) 682人 |              |       |
|                               | (2024) 927人 |             |              |       |

#### 4 主な事業とKPI

| 施策   | ⑱ 住環境   |  |
|------|---|--|
| 事業名  | 41 土地の有効活用促進  | 担当課 都市計画課  |
| 事業概要 | 土地の有効活用を促進し、湖西市内に宅地を供給するため、居住誘導区域等の市街化区域内に施行する民間開発や土地区画整理事業を支援します。  |  <p>湖西市立地適正化計画 居住誘導区域内における民間宅地開発の促進</p> <p>土地提供者への奨励金 開発事業者への奨励金</p> <p>土地の提供(売買) 住宅用地の開発</p> <p>『湖西市民間宅地開発土地提供金助成金』<br/>1人最大200万円<br/>1㎡当たり2,000円</p> <p>『湖西市民間宅地開発土地提供金助成金』<br/>1事業者最大1,000万円<br/>市に譲渡する道路1㎡当たり3,000円<br/>市に譲渡する調整池1㎡当たり6,000円</p> |
| KPI  | 市街化区域内の未利用地の解消<br>基準:136.8ha(2019) 当初目標:131.8ha(2024)<br>実績:126.0ha(2023) 評価: ↗   |  |
| R5実績 | ・相談4箇所(内1箇所は造成工事着手)   |  |
| 事業名  | 42 畜産臭気対策   | 担当課 環境課・産業振興課  |
| 事業概要 | 定期的に畜産臭気を観測し、また畜産事業者への補助金を活用した臭気対策事業の促進を図ります。   |  <p>臭気測定の様子</p>  |
| KPI  | 生活の中で悪臭を感じる人の割合<br>基準:74.9%(2020) 当初目標:63.6%(2024)<br>実績:61.5%(2023) 評価: ↗  |  |
| R5実績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全養豚事業所での臭気発生状況調査、調査結果による臭気対策個別面談、効果検証調査</li> <li>市街地での畜産臭気由来の悪臭物質拡散状況調査</li> <li>静岡県、企業との生産性向上、臭気対策実証実験</li> </ul> |  |

| 施策   | ⑳ 移住定住促進  |  |
|------|---|--|
| 事業名  | 48 マイホーム取得者へのアプローチ  | 担当課 企画政策課  |
| 事業概要 | 「職住近接」による、ゆとりある豊かなライフスタイルを提案し、若い世代の湖西市への定住を促進するため、市内に住宅を取得する世帯に対し、最大100万円の助成を行います。(2019年10月から制度スタート)                                    |  <p>住宅フェアイベントの様子</p> |
| KPI  | 住もっか「こさい」定住促進奨励金の年間申請件数<br>基準:3件(2019) 当初目標:126件(2024)<br>実績:98件(2023) 評価:B   |  |
| R5実績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>R4年度124件から年度単位で26件減少</li> <li>住宅フェアや移住フェアに8回参加。</li> <li>SNSを活用したWEB広告を発信。(R5.4~R6.1)</li> </ul> |  |

## 5 総合評価・数値目標の達成状況に対する分析と考察

| 前年度比    | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 評価      | — | ● | — | — |
| 戦略目標    | — | 1 | — | — |
| 施策の成果指標 | — | 3 | — | 1 |

| 前年度比     | 上昇 | 維持 | 低下 |
|----------|----|----|----|
| 基本事業のKPI | 8  | 1  | 1  |

重点施策の1つである『⑩住環境』の目的達成に向け、数値としては昨年度に比べ減少となってしまいましたが、令和3年10月よりスタートした「土地の有効活用促進（基本事業）」を進めるための**奨励制度**について、**令和6年度は3件の予定(令和5年度は実績なし)**があり、また令和6年度10月からは**賃貸住宅等への奨励金整備も予定**しているなど、今後上昇に期待ができます。あわせて、基本事業である「畜産臭気対策」については、**県・企業との連携により臭気対策実証実験**を行うなど、前年度同様改善に向けた施策展開を図りました。これまでの取り組みの結果、数値の改善が見られ、目標を達成することができています。

環境学習の参加者は、**地球温暖化防止対策の学習会開催による環境意識の向上やSDGsの機運の高まり**に乗じて上昇傾向となっているほか、花苗の配布件数も上昇に転じています。『⑨自然環境』の成果指標である「自然が豊かであると感じる市民の割合」は基準値を下回っていますが、昨年度より1.7ポイント上昇しており、**2024年度はこさい春の緑花フェアを浜名湖花博会場で開催し、新居弁天海釣公園から舟運でアクセスできるイベントを開催すること、こさい環境フェアを湖西おいでん祭と同時開催**することで集客効果のアップによる効果的な周知活動が期待されます。

『⑩観光振興』では、来訪者満足度は前年度を下回る結果となってしまいましたが、一方で不満点に関する調査においては、2023年度に「不満点があった」と答えた方は26%、「ひとつも不満が無かった」と答えた方が65%であり、2022年度の同調査では、27%、及び63%だったため、**大きく不満項目が増えたわけではない**と考えます。また、市民が「国内外の友人に対し湖西市へ訪れてもらいたいと思う市民の割合」、「市公式観光ウェブサイトページビュー数」、「市内で体験できる着地型旅行商品の商品数」については、いずれの数値も改善しており、この結果が「来訪者の満足度」に繋がるよう、今後も施策を進めていきます。

2023年度下半期には新居弁天地区利活用事業の民間事業者が運営する施設「**浜名湖パークビレッジ**」がオープンし、今後新居弁天地区の**賑わい創出に大きな期待**が寄せられています。市も事業者と連携し、効果的な賑わいの創出、更には新居弁天地区の賑わいを市内全域に広げていく取り組みを検討し進めていきます。

戦略4のもう1つの重点施策である『⑫移住定住促進』は、それぞれの**ライフステージに合わせた支援**を展開しており、前年度よりも転入者は増加していますが、様々な課題も顕在化してきています。重点基本事業である「マイホーム取得者へのアプローチ」について申請件数は増加傾向にあるものの、転入者は令和4年度89人に対して、令和5年度74人に減少しており、**新築価格の高騰・中古住宅などの影響**が表れており、**制度の見直しの検討**が必要だと考えています。このほか、「新社会人へのアプローチ」は減少しており昨今の**人材不足という採用事情**が影響していると考えます。また、「新婚世帯へのアプローチ」については増加しましたが、**晩婚化などの社会情勢が影響**してくるものと捉え、令和6年度から**マッチングアプリを活用した出会いの機会を創出**するための施策展開なども進めていく予定です。

以上を踏まえた戦略目標4の総評ですが、施策の成果指標は全てにおいて目標値の達成に至っていませんが、様々な施策展開が身を結び始めていると捉えられることからB判定とします。

※各評価の下段に表示した矢印は、前年度からの数値の動きを表しています。

1 戦略方針

人口減少社会においては、人口減少の歯止めをかける施策と人口減少に対応する施策が必要になります。その中で湖西市が持続可能な発展を遂げるためには、一地方自治体として適正な行政経営を継続していく必要があるため、長期的な視点から課題を把握し、必要性の高い事業を見極めて、着実に実行していきます。

また、コロナ禍による新たな生活様式や人口減少社会への対応として、AI等デジタル技術をまちづくりに取り入れていくことも必要です。施設の予約、行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済の他、教育、医療、子育て、産業等の様々な分野でデジタル技術を活用し、デジタル・スマートシティの実現を推進し、「職住近接」の実現と持続可能なまちづくりを目指します。

2 戦略目標:設定なし

| 数値目標 | 基準値 | 実績値 | 評価 | 当初目標値 | 指標担当課 |
|------|-----|-----|----|-------|-------|
|      |     |     |    |       |       |

3 施策の成果指標

※最下段(2024)は目標値

| 施策⑳ デジタル・スマートシティの実現   | 数値           | 評価    | 指標担当課 |
|---|--------------|-------|-------|
| <div style="text-align: right; color: red; font-size: small;">基準値</div> (2019) 1,358件<br>(2020) 2,446件<br>(2021) 14,617件<br>(2022) 44,178件<br>(2023) 75,637件<br>行政手続に係るオンライン利用件数<br>(「デジタル申請」「コンビニ交付」「オンライン予約」「キャッシュレス決済」の合計) | A ⇒ A<br>(↗) | DX推進課 |       |
| <div style="text-align: right; color: red; font-size: small;">当初目標値</div> (2024) 24,850件  |              |       |       |

| 施策㉑ 行政経営  | 数値           | 評価  | 指標担当課 |
|---|--------------|-----|-------|
| <div style="text-align: right; color: red; font-size: small;">基準値</div> (2019) 32.1億円<br>(2020) 36.4億円<br>(2021) 36.5億円<br>(2022) 35.0億円<br>(2023) 35.2億円<br>財政調整基金残高 | A ⇒ A<br>(↗) | 財政課 |       |
| <div style="text-align: right; color: red; font-size: small;">当初目標値</div> (2024) 25億円以上   |              |     |       |

#### 4 主な事業とKPI

| 施策   | ⑳ デジタル・スマートシティの実現  |                |       |
|------|--|----------------|-------|
| 事業名  | 51 市民向けサービスの向上   | 担当課            | DX推進課 |
| 事業概要 | 市民向けサービスとして、窓口で対面しなくても手続きができるよう、オンラインによる各種行政手続を充実させます。また、証明書等のコンビニ交付の啓発やオンライン決済などのサービスも充実していきます。 |                |       |
| KPI  | オンラインで利用できる行政手続数   |                |       |
|      | 基準:17件(2019)   | 当初目標:29件(2024) |       |
|      | 実績:111件(2023)  | 評価: ↗          |       |
| R5実績 | ウェブサイト上に常設で運用されている行政手続数 111件<br>・電子申請システムの対応手続きが増え、オンライン申請数が増加した。<br>・証明書等のコンビニ交付数も増加傾向にある。      |                |       |

#### 5 総合評価・数値目標の達成状況に対する分析と考察

| 前年度比    | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 評価      | ● | — | — | — |
| 戦略目標    | — | — | — | — |
| 施策の成果指標 | 2 | — | — | — |

| 前年度比     | 上昇 | 維持 | 低下 |
|----------|----|----|----|
| 基本事業のKPI | 4  | —  | —  |

横断的戦略の基本事業の成果指標である「オンライン利用ができる行政手続数」について、**電子申請システムの機能拡大**により年々増加しており、目標値を大きく上回っています。それに比例して、申請件数も増加しています。また庁内の無線LANの環境を導入したことにより、**会議のペーパーレス化**による事務作業時間削減に向けた環境整備ができました。令和6年度には、一部部署の**フリーアドレスの試行**を予定しています。

『⑳行政経営』の施策の成果指標である「財政調整基金残高」は、財政調整基金からの当初繰り入れについては8.8億円となったものの、決算積立や3月補正による繰り戻しを実施し、結果的には35.2億円の残高となり、数値目標を上回り達成することができました。

また、中期財政計画上の目標である「財政調整基金の残高を標準財政規模の25%以上とする。」についても24.8%となり目標と同程度の水準を維持できました。

総論として、前年度同様、全体的に目標値を超えた水準で進捗していることからA判定維持としました。